

バス利用促進・収支改善提案に対する取組み状況と考え方(案)

--ひかりが丘住宅線・生駒ニュータウン線3者協議、あすか野自治会地域公共交通検討特別委員会での提案--

番号	内容	状況	取組み状況・考え方	提案時期
1	市の中心部や総合公園を活用したイベントの実施 (高齢者の運動教室、小学生を対象としたスポーツ教室等の定期開催、イベント実施)	実施済み 要検討	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年8,11月に公共交通利用促進策「バス運賃100円DAY」を5日実施予定。8月は生駒駅前で開催される「いこまどんどこまつり」と同時実施。11月の実施にむけ調整中。 総合公園でのイベントは、10月末「ファミリースポーツのつどい」、年3回障がい者のお子様向けのあそび場などが実施されている。 来園手段を把握するため、利用者移動手段アンケートを準備中。 イベント実施を企画するのではなく、市内で実施されるイベントに合わせ、バスの利用促進を実施する方法を採用。 バス運賃を行政が負担する方法は、多額の費用が必要。 	三①②
2	区間別の利用者層、目的の把握などデータ活用による効果的な利用促進 市全体で収支均衡を図るため、全路線の利用者ニーズの把握	実施済み 継続	<ul style="list-style-type: none"> 人口データや奈良交通による利用実績データなどを活用した検討を実施。 過去に市などが実施したアンケート結果(R2.8交通実態・公共交通の評価アンケート、R1.11月国総研あすか野地区アンケートなど)を活用・共有して検討中。今後も必要に応じ、データ収集・活用を図る。 R5.8に実施した「いこまバスまつり2023」で、「バスの利用者を増やすには？」アンケートを実施。 新たな補助制度の活用の際など、必要に応じて全体の利用者ニーズアンケートの実施を検討していく。 	三①③④
3	市職員の自動車通勤手当減額、自転車通勤手当の増額等して公共交通利用を促進	実施済み 継続	<ul style="list-style-type: none"> H24年から実施済み。 市職員の56%が公共交通利用、27%が車・バイク。(R4調査) 存続が危機的な状況にある公共交通の現状を庁内インフォメーションなどを活用し、職員に対して情報周知を実施している。 	三① あ①
4	公共交通による通勤の推進に取組む事業者を入札時に加点、優良事業者を公表	実現可能性 検討	<ul style="list-style-type: none"> 大阪・京都など大都市にある事業所が有利となることが想定されるため、市内事業者に対しての配慮が必要となる。公平性を優先すると市内事業者の衰退を招く恐れがある。 総合評価方式、公契約条例の制定等、実現には検討を要する。 	あ②
5	日常的な買い物に対する、バス利用者への特典付与 例えば、生駒駅周辺で買い物・飲食をした方に、帰りのバス乗車券(当日限り)を提供	実施済み 要検討	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年8月実施の「バス運賃100円DAY」と合わせ、バス沿線にある店舗を紹介するとともに、店舗の協力を得てサービス特典を期間限定で設定。利用状況・取組効果を把握し、可能性を検証中。 奈良交通の新しい定期券CICAPlusを活用し、店舗との連携を実施中。 店舗や事業者等の協力が不可欠であり、各店舗との調整が必要。 コミバス鹿ノ台線で、地元自治会が主体となり、地域の中心にあるスーパーと連携した事例有。 	三①② あ③
6	生駒市内フリー切符等の企画券を奈良交通が作成し、生駒市ふるさと納税限定返礼品に。	要検討	<ul style="list-style-type: none"> 他市での事例有(兵庫県南あわじ市等)。 ふるさと納税返礼品とする場合、フリー切符は市内での利用が原則となるため、観光スポットに限られる生駒市でのニーズがあるか見極めが必要。 運輸局へ企画券の届出等が必要。 	あ④
7	生駒駅前市営駐車場の値上げ。(周辺民間駐車場と同額に)	実現可能性 検討	<ul style="list-style-type: none"> 生駒駅前市営駐車場は、駅周辺の路上駐車対策として運営している。短時間利用の場合、市営が安くなるが、長時間の場合は上限運賃制のある民間の駐車場の安くなる料金体系。 市営駐車場の運営や、料金値上げによるバス利用増加効果の検証等を踏まえた上での、判断が必要。実現には検討を要する。 駐車場が利便性低下による、路上駐車増加、交通環境悪化なども懸念される。 	あ⑤
8	平日朝の生駒駅北口に至る市道へのマイカー流入禁止 生駒市地域公共交通計画にも記載済み	実現可能性 検討	<ul style="list-style-type: none"> 警察との協議や、生駒駅北口以外の交通に与える影響についても検証が必要。 県警本部とも協議したが、市民の生活への影響が大きいため、実現には検討を要する。 生駒市地域公共交通計画や生駒市都市計画マスタープラン等に記載はない。 	あ⑥
9	イベントによる需要創出と、市主催イベントでの自家用車流入禁止及び臨時バスの運行	実施済み 継続	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年8,11月に公共交通利用促進策「バス運賃100円DAY」を5日実施予定。8月は生駒駅前で開催される「いこまどんどこまつり」と同時実施。11月の実施にむけ調整中。臨時バスでなく路線バスの利用促進は図った。 休日だけでなく平日にも実施し、幅広い層にバス利用のきっかけづくりを実施した。 イベント等への来場について、公共交通の利用促進を促してもらうよう、引き続き職員への意識醸成を図る周知を実施する。 	三③ あ⑦
10	公共交通機関沿線への居住誘導	実施済み 継続	<ul style="list-style-type: none"> 生駒市の都市づくりの方針である生駒市都市計画マスタープランに、駅を中心として、居住を誘導する地区などの土地利用方針を定め、都市づくりを進めている。 マスタープランに日常生活に必要な都市機能にアクセスできる「将来生活交通圏域」を定めており、あすか野地区は「白庭駅圏域」。 	あ⑧
11	市による継続的な財政支援制度の導入 赤字路線への国の特別交付税措置制度の導入(2023.3月提言)	要検討	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通事業者に対し、令和3,4,5年度に燃料高騰対策支援等を実施済。 継続的な支援として、国の新たな制度(エリア単位での黒字・赤字路線の一括運行に係る協定を自治体と交通事業者で締結)の活用を検討中。 今後、上記の制度活用の検討を進めながら、限られた財源を有効活用し、市全体の持続可能な公共交通網の形成に係る行政運営が必要 特別交付税措置について、輸送人員が150人/日以上路線になるため対象とはならない。(参考資料3参照) 	あ⑨
12	市内を走行するバスの購入補助。 ノンステップバス購入に係る、国や県の補助金の確保。事業者への支援。	実現可能性 検討	<ul style="list-style-type: none"> 奈良県がノンステップバス車両購入費補助(購入費の1/2 上限2,000万円)を実施している(※他の補助金との重複を認めない)が、生駒市内で運行するバスは補助対象外。 生駒市内で運行するバスを補助対象とするためには、バリアフリー基本構想で重点整備地区としてバス運行エリアを指定する必要がある。(現在は南生駒駅のみを指定) 	あ⑩
13	沿線商店・飲食店・企業にバス車内広告出稿やバス停ネーミングライツの呼びかけ	実現可能性 検討	<ul style="list-style-type: none"> 奈良交通の新しい定期券CICAPlusを活用し、店舗との連携補法について検討中。 令和5年8月実施の「バス運賃100円DAY」と合わせ、バス沿線にある店舗を紹介するとともに、店舗の協力を得てサービス特典を期間限定で設定。利用状況・取組効果を把握し、可能性を検証中。 3者協議で検討が進められている「サポーター制度」や、事業者との協議を踏まえ実現可能性を検証していく。 	あ⑪

バス利用促進・収支改善提案に対する取組み状況と考え方(案)

--ひかりが丘住宅線・生駒ニュータウン線3者協議、あすか野自治会地域公共交通検討特別委員会での提案--

番号	内容	状況	取組み状況・考え方	提案時期
14	公共交通優先システム（PTPS）の導入	実現可能性 検討	・県内では、奈良駅周辺での導入実績はあるが、効果は薄い。 ・県警本部、生駒署と協議したところ、バスレーン整備とセットで導入することで効果的に機能するものであるため、生駒市においては道路構造から変更する必要がある。 ・さらには、信号の規則性が崩れ、渋滞悪化の懸念もある。	あ⑫
15	小明寺垣内等バス停付近の駐輪場整備 図書館駐輪場のバス利用者への開放	要検討	・駐輪場整備主体や用地の確保、ニーズの把握等、実現には検討を要する。 ・「サイクル&バスライド」と称し、奈良交通が実施しているが、現在、生駒市での事例はない。	三① あ⑬
16	バス停隣接商業施設駐車場 駐輪場のバス利用者への無料開放要請	要検討	・「サイクル&バスライド」と称し、奈良交通が実施しているが、現在、生駒市での事例はない。 ・奈良交通の新しい定期券CICAPlusを活用し、店舗との連携を実施中であり、駐輪場についてもニーズを把握したうえで検証していく。 ・店舗や事業者等の協力が不可欠であり、各店舗との調整が必要。	あ⑭
17	専らバス便のみの市施設（はばたき・山麓公園・総合公園・やすらぎの杜等）でのイベントはバス時刻を意識して開催時間を設定	実施済み 継続	・存続が危機的な状況にある公共交通の現状を庁内インフォメーションなどを活用し、職員に対して情報周知を実施している。 ・イベント等への来場について、公共交通の利用促進を促してもらうよう、引き続き職員への意識醸成を図る周知を実施する。	あ⑮
18	市内事業者に対しノーマイカーデーの呼びかけ ノーマイカーデーにバスの割引乗車券を発売	要検討	・生駒商工会議所と路線バスの危機的な状況の共有を図っており、今後の市内事業者との連携の可能性について検討中。 ・いこまんどこまつりで、バスの利用促進イベントを実施するなど、市民の意識醸成を図る取組みを実施。	あ⑯
19	シンポジウム開催による市民・行政の交通問題の意識化と役割意識の醸成	実施済み 継続	・いこまんどこまつり等で、バスの利用促進イベントを実施するなど、市民の意識醸成を図る取組みを実施。（R5.8/5,6に実施 来場者1,500名） ・今後もシンポジウム等市民の意識醸成を図る機会を創出していく。	あ⑰
20	小中学校で生駒市の公共交通を考える出前授業の実施や公共交通利用促進パンフレットの配布。	要検討	・出前授業の実施に向けた準備を進める。 ・令和5年8,11月に公共交通利用促進策「バス運賃100円DAY」を5日実施予定。あわせて市内各所のバス停を巡るスタンプラリーを実施し、スタンプ冊子には公共交通の危機的な状況を伝えるメッセージや、市内バス路線マップ、バス停から近い飲食店などを特典付きで掲載するなど利用促進を実施。	あ⑱
21	生駒市転入者の転入届時にバス路線やCI-CA、奈良交通HPを案内するパンフレットを配布・市役所に常置。	実施済み 要検討	・事業計画課窓口でCI-CA plusちらし掲出済み。 ・転入者への公共交通に係る情報発信は検討を進める。	あ⑲
22	全市施設での最寄りバス停の時刻表掲出。	実施済み 継続	・図書館、花まち、竹林園、コミセン、総合公園等概ねの公共施設で掲出済み。 ・未掲出の施設については適宜対応していく。	あ⑳
23	市HPや広報いこまちを利用して、公共交通利用の呼びかけ。広報誌等を活用して、あすか野桜まつり等地域のイベントへの参加呼びかけ	実施済み 継続	・市広報誌「いこまち」に、令和5年4月号から、路線バスで行ける市内のおすすめスポットを紹介する「バスでまちぶら」枠を毎月掲載。（4月：あすか野緑道の桜／5月：稲倉烏帽子岩／6月：長弓寺あじさい／7月：くろんど池／8月：イモ山公園）	三① あ㉑
24	地域公共交通活性化協議会への参加は公共交通機関によることを協議会で申し合わせ。	実施済み 継続	・3者協議の開催にあたり、開催案内にバス停や行きと返りの時刻を掲載。 ・市職員等関係者も可能な限り公共交通の利用をして参加している。 ・協議会を含め、引き続き会議等開催の際には、公共交通の利用を促していく。	あ㉒
25	市役所、図書館などの公共施設を利用する場合に、バス利用者にクーポンを配布する	一部実施 要検討	・令和5年8,11月に公共交通利用促進策「バス運賃100円DAY」を5日実施予定。あわせて市内各所のバス停を巡るスタンプラリーを実施し、スタンプ冊子には、市内バス路線マップとバス停から近い飲食店などを特典付きで掲載している。 ・利用実態の把握を進め、公共施設への展開が利用促進に効果的か検証していく	三④

バス利用促進・収支改善提案に対する取組み状況と考え方(案)

--ひかりが丘住宅線・生駒ニュータウン線3者協議、あすか野自治会地域公共交通検討特別委員会での提案--

番号	内容	状況	取組み状況・考え方	提案時期
1	バス乗り継ぎ割引の導入(多数の社局で導入)	一部実施	一部路線で導入済み。主に当社の都合で直通での移動ができなくなった区間で運用している。利用促進としては割引分を超える増収が見込めないため、実施していない。また、通勤通学等の日常的にご利用のお客様には乗継割引よりもCI-CA Plusの利用がお得になる。	三① あ①
2	末端区間で定額運賃の導入 生駒駅-東生駒駅で150円、あすか野市内バス停相互間で100円バスの実施	対応困難	短距離区間を100円にするなどの施策であると思いますが、当社の初乗り運賃は現在190円であり、値下げした区間で約2倍の利用増がないと減収になるため、導入は難しいと考えている。	三① あ②
3	土日祝日には大人に同伴する同居子どもは100円均一	対応困難	子どもの運賃は元々大人運賃の半額であり、大半のご利用は10~30円程度の割引にしかならないため、効果はあまり見込めないと考えている。運賃の値下げ策については、一時的な利用促進策としては一定の効果があるかもしれないが、恒常的に利用を維持することは難しい。	三① あ③
4	中学生向け夏休み乗り放題パスの復活	対応困難	中学生向けの「夏休みどこでもパス」は以前に販売していたが、大半が通学や通塾等、定期券の代わりとして利用されており、新規旅客の拡大にはつなげていないことから小学生のみの販売に切り替えている。	三① あ⑤
5	沿線商店・飲食店とタイアップしてCI-CA持参者に割引・併せて車内広告の勧誘	一部実施 継続	プリペイド式のCI-CAはバスを利用しなくても、保有することが可能であるため、全てがバスの利用者とは言い難い。一方で、固定客である定期券の魅力が高めるため、本年販売を開始したCI-CA Plusの特典として、協力店舗の拡大を図っている。	三② あ⑥
6	事業所・高校に対する定期券の一括購入制度の導入	実施済み	一部の事業所で導入している。高校向けには入学説明会でCI-CA Plusの販売促進をしている。	あ⑦
7	やまと号利用者に当日路線バス半額券配布の復活・半年以内に再乗車する場合の1%割引券を購入時に窓口で配布・往復割引の導入	一部実施	現在、やまと号五條新宿線をご利用のお客様には「奈良公園・西の京 世界遺産 1-Day Pass」もしくは「明日香周遊バスフリー乗車券」をプレゼントしている。また、運行日によって運賃を変動させている。	あ⑧
8	奈良公園・西ノ京1day passの100円値上げ	要検討	生駒市内は対象エリアに含まれていないが、参考にさせていただく。	あ⑨
9	回数券の復活、販売所を増加してほしい	対応困難	紙式の回数券はICカードの普及により、販売がほぼなくなったため、廃止した。また、販売所の設置、運営には多額の費用がかかることに加えて、CI-CAPlusの販売により、窓口を介さずに定期券を購入することも可能になっていることや、主要なターミナルにCI-CAの積み増し機を設置するなどの対応を進めており、これ以上の窓口増設は難しい。	三③
10	日々の運行の中でも、運転手のマナーの向上等乗客をふやそうという策を講じてほしい	実施済み	運転者の接遇向上については定期的な研修や指導員による添乗指導をするなどの取り組みを行っている。当社としてもお客様に気持ちよくご乗車いただけるよう努めているが、至らないところもあるので、ご指摘がいただければ、指導させていただく。	三④
11	バスの本数を増やしてほしい	状況により 検討	バスの本数は需要に応じて適正な回数を設定している。ご利用者が増加するような住宅開発や企業立地などがあれば、増便を検討する。	三④
12	運賃を値上げしてほしい	申請中	令和6年2月に実施する予定で現在運輸局に申請中。運転者不足や車両の老朽化等の乗合事業の課題を改善し、今後も安定して乗合バスの運行を継続していくことを目的として運賃を値上げする。	三④
13	バスの初乗り料金を100円にする。	対応困難	当社の初乗り運賃は現在190円であり、値下げした区間で約2倍の利用増がないと減収になるため、導入は難しいと考えている。	三④

バス利用促進・収支改善提案に対する取組み状況

--ひかりが丘住宅線・生駒ニュータウン線3者協議、あすか野自治会地域公共交通検討特別委員会での提案--

番号	内容	状況	取組み状況	提案時期
1	利用促進運動 ポスターや回覧板で現状を周知する。	実施済み	あすか野自治会にて令和4年10月に実施。	三④ あ①
2	自治会でのバス回数券の販売 夏祭りの景品に回数券を復活 見守り活動ボランティアへの謝礼を回数券とする。	一部実施	あすか野自治会にて実施済み。(ボランティアへの謝礼を回数券とする案は未実施) 販売に関しては景品として回数券を受取りに来られない分で実施。(反響等を調査予定)	三③④ あ②
3	文化祭等の自治会行事での貸し切りバス利用の復活	検討中	あすか野自治会にて実施に向けて検討中。	三④ あ③
4	バス停時刻表の全戸配布	実施済み	あすか野自治会にて独自に作成したバス・鉄道の乗り継ぎ情報を記載した時刻表を作成し、全戸に配布。	あ④
5	バス利用に特典ある商店・飲食店の案内マップを作成し全戸配布	検討中	あすか野自治会にて検討中。	あ⑤
6	市や奈良交通による上記施策を自治会でも回覧板等で積極的に広報(3月はCI-CA plus)	実施済み	あすか野自治会にて実施済み。	あ⑥
7	公共交通問題に専門的に取り組む特別委員会を設置	実施済み 継続	あすか野自治会において、令和4年10月に「あすか野地域公共交通検討委員会」を設置。	あ⑦
8	商店街と連携したイベント開催	検討中	・あすか野自治会で実施するハロウィンとの連携を検討中。	三④
9	奈良北高校生を対象にスタンプカードを作成し、あすか野センター商店でアイスと交換する	検討中	検討中。	三④
10	あすか野保育園利用者を対象に、バスに対するニーズ調査を実施する 事業者には割引を考えてもらう	検討中	検討中。	三④
11	沿線住民等がサポーターとなる。特定の路線を応援できる仕組みとするなど、市全体で公共交通基金を募る。行政は仕組みを作り、事業者はサポーター制度を導入する。	検討中	・制度化、実施体制づくりなどに着手。	三④
12	他の自治会にあすか野地区が困っていることを伝える。 あすか野自治会館で、麻雀などのイベントを実施し、他地区の人を呼び込む	検討中	検討中。	三④
13	生駒の商店のイベントやお買い得商品などの情報を流し、外出し たくなるようにする。 事業者は飲食店とコラボして、飲み会のイベントを実施する。	検討中	検討中。	三④
14	白庭病院の通院客を取り込むため、病院で運行するバスを廃止して、奈良交通の路線バスへ統合するように働きかける。行政は働きかけを支援し、事業者は統合への調整を行う。	検討中	あすか野自治会から白庭病院へ打診済み。	三④
15	いそかわ新生駒店での買い物客に、バス乗車の方への回数券を配布する。	検討中	検討中。	三④
16	自転車で駅まで通う通勤・通学者にバスを利用してもらうため、駐輪場代(現状150円)より安い運賃にする。行政は運賃の差額を負担する。	検討中	検討中。	三④
17	住宅地とスーパーのシャトルバスを運行する。行政は運賃を負担する。	検討中	検討中。	三④
18	夏休みなどの長期休暇の期間の運賃を半額にする。行政は運賃の差額を負担する。	検討中	検討中。	三④
19	ノーマイカーデーを実施し、その日は運賃を安くする。行政は運賃を負担する。	検討中	検討中。	三④
20	通勤・通学者の定期券の補助を行う。行政は運賃の差額を負担し、事業者は特に夜間の利便性の向上を図る。	検討中	検討中。	三④
21	「バスに乗ろうポスターコンクール」を開催し、小学生が作成したポスターをバス車内に掲出する。	検討中	・実現に向け着手。	三④